

あいち農産物生産流通レポート

2022年1月号

	ページ
◎ 地域トピックス	
・「道の駅瀬戸しなの」食品表示啓発研修会の開催 (尾張農林水産事務所)	1
◎ 東日本情報	
・農産物の生産や加工を契機に地域活性化 (東京事務所)	2
◎ 西日本情報	
・2020年の県内卸売市場における青果物・花きの流通動向 (食育消費流通課)	4
◎ フラワーページ	
・「あいち花マルシェ2021」を開催しました! (園芸農産課)	5
・「フローラル・イノベーション2021」が開催されました (東京事務所)	8
◎ 青果	
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	9
・名古屋・東京市場における青果物の1月の見通し	10
◎ 花き	
・切花・鉢花の1月の見通し(県内市場)	22

※今月「情報サロン」はありません

内容についての問合せ先

愛知県農業水産局農政部食育消費流通課

(052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

(03)-5492-5400

「道の駅瀬戸しなの」食品表示啓発研修会の開催

尾張農林水産事務所

尾張農林水産事務所農政課では、食品表示の適正化を推進するため、食品関連事業者を対象とした食品表示啓発研修会（以下「研修会」）を毎年実施しています。

2021年11月5日に、開催依頼のあった瀬戸市内の直売施設「道の駅瀬戸しなの」の出荷者を対象とした研修会を行い、36名の方に参加していただきました。

1 研修会

今回の研修会では、「加工食品の表示方法」、改正のあった「玄米及び精米に関する表示事項」、米や米加工品の流通に関する「米トレーサビリティ法」の3つの内容について説明しました。

「加工食品の表示方法」については、実際に、「道の駅瀬戸しなの」で販売されている加工食品の食品表示を確認し、例を示しながら、食品表示を作成する際のポイントを紹介しました。また、2017年7月に改正された原料原産地の表示制度の経過措置期間が2022年3月までになることから、原料原産地の表示方法を中心に説明し、参加者は、熱心に資料を見ながら説明に耳を傾けていました。

2020年3月と2021年7月に改正のあった「玄米及び精米に関する表示事項」では、農産物検査法による証明を受けていない場合においても、根拠資料の保管を要件として、品種、産地及び産年を表示できるようになった点や、「精米年月日」から「精米時期」の表示になったことなど、改正点を中心に説明しました。

また、「米トレーサビリティ法」の概要、対象となる品目、誰が遵守する必要があるか、等を説明し、「米トレーサビリティ法」の啓発も行いました。

2 参加者の声

参加者からは、「製造している商品は米トレーサビリティ法の対象となるか。」「精米年月日に加えて精米時期を表示するのか。」など多くの質問が寄せられました。

「道の駅瀬戸しなの」の代表の方からは、「改正があった際に素早く対応できるよう、毎年食品表示についての研修会を開催したい。」との要望がありました。

農政課では、今後も研修会や食品表示遵守状況調査を通じて、食品表示法及び米トレーサビリティ法に基づく表示の適正化の啓発を行っていきます。



研修会の様子

農産物の生産や加工を契機に地域活性化

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

地域の食材を活用した加工食品の開発や農業生産と食品加工の一貫体制を契機とした地域活性化についての講演を聞く機会がありましたので、その内容を紹介します。

1 ご当地レトルトカレーで地域を盛り上げる

一般社団法人ご当地レトルトカレー協会の代表理事である猪俣早苗氏によると、ご当地レトルトカレー（以下、ご当地カレー）とは、原材料に肉や海産物、野菜といった地域の食材を使用することで地域の食文化を伝えるものです。



各地のご当地レトルトカレー

商品の入れ替わりの激しいレトルトカレー市場において、ご当地カレーは大量生産とは違う魅力があることから「らしさ」が重視されます。「おいしい」はもとより、作り手の伝えたいことや地域の魅力をまっすぐ伝えられているかが重要です。地域を知ってもらうため、地域について伝えるストーリーに多くを入れたくなりますが、多すぎると言いたいことが分からなくなります。そのため、消費側の視点を意識し、時には作り手の伝えたいことを絞る必要があります。

このように、ご当地カレーは地域からのメッセージを伝える役割を持ち、コミュニケーションツールとなりえるだけでなく、カレーを作ったことで雇用創出につながった例もあります。

また、ご当地カレーは、地域で生産された、品質や安全安心に自信を持つ食材を使用し、規格外品も利用することができます。加えて、カレーに加工することにより常温保存が可能となり、マーケットが広がる利点もあります。ご当地カレーの食材として利用することで、これまで知られていなかった農産物に焦点が当たるようになり、北海道猿払村のほたて、茨城県の豚肉である常陸の輝き等、ご当地カレーがきっかけとなり、お取り寄せや旅行、ふるさと納税につながった例が多くあります。

2 冷凍野菜の国産化をすすめ、地域全体の活性化を目指す

茨城県つくば市に本社のある有限会社ワールドファームは 2000 年設立の農地所有適格法人で、農業生産と食品加工を行っています。目指す姿は、地域が一体化し、農業の振興だけでなく、地域経済の活性化や雇用の創出、循環型社会の実現です。

(1) 農業生産と食品加工の一貫体制の強みを生かす

同社は、つくば市、熊本県大津町、鳥取県倉吉市を主要拠点としており、野菜加工工場を中心とした半径 10～15km 圏内に農地を確保し、栽培から加工、販売まで一貫体

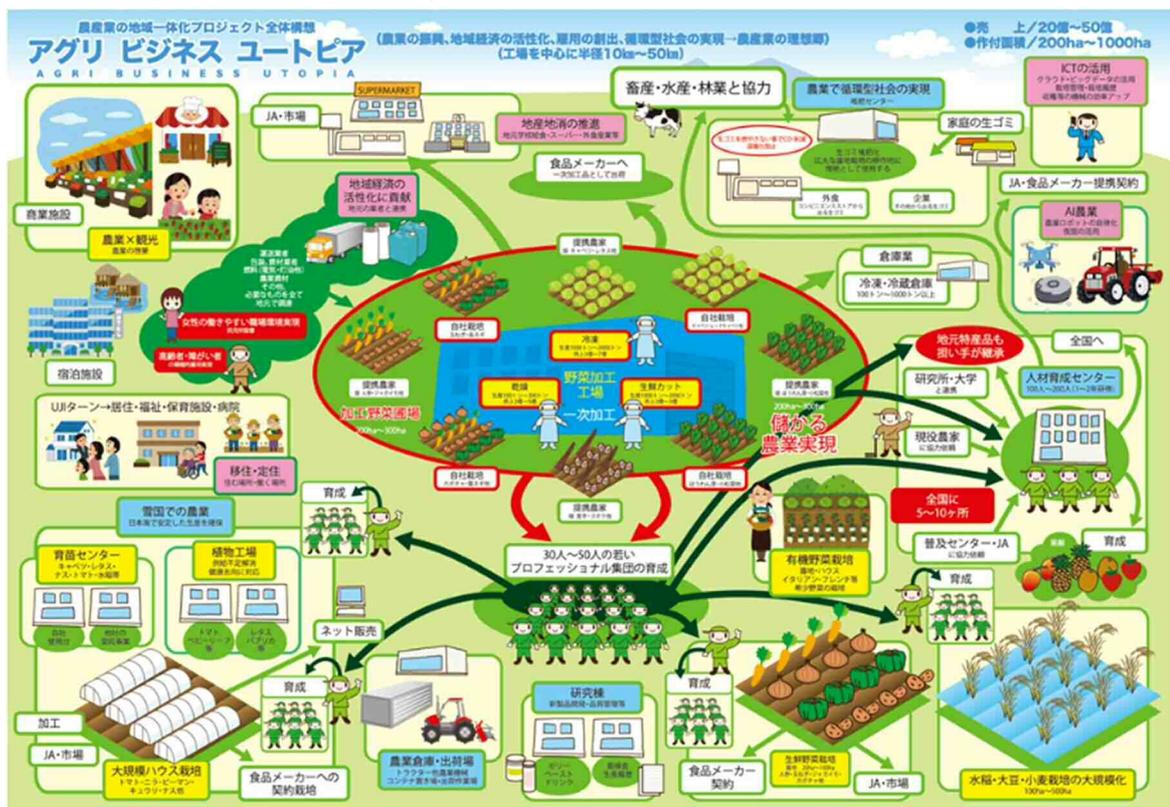
制をとっています。

農業生産を主、食品加工を従とし、加工は農業の効率を上げるためのツールと位置づけ、一貫体制の強みを生かしてコスト削減を行っています。加工用の利点を生かして農薬散布の回数を少なくして農薬費を削減するとともに、一般市場流通品としては規格外となる大きなサイズで収穫することで単位面積あたりの収量を多くし、結果的に栽培面積を少なくすることで生産に要する労力を減らしています。また、天候に合わせて同じ人が農業と加工に従事して人件費の無駄を省くほか、収穫物の運搬はコンテナを使用して梱包費を削減しています。加工工場への持ち込みを軽トラ等で行い、農産物よりも単価の高い加工品として出荷することで、売上に対する運送費の割合を下げています。さらに、傷みや割れなど一般市場流通では廃棄されるものの活用や冷蔵庫を利用した出荷量の調整、農作業の内容により集団で作業することで効率化を図っています。

(2) 儲かる農業による担い手育成を含むアグリビジネスユートピア構想

こうした体制によって週休2日制で1人当たりの年間労働時間を2,080時間とし、そのうち520時間は先端技術の導入や勉強等、農場と工場での労働以外にあてています。同社では、社員が7～8年間研修を重ねながら年収500万円を達成した後は年収1,000万円以上を目指した独立就農を奨励しており、独立に際しては、農地の斡旋や農業機械のシェアリング、作業支援、販路紹介等の支援を行っています。

冷凍野菜の輸入量約103万tのうち約50万tを国産化することで耕作放棄地の解消や食料自給率の向上、雇用創出等の課題解決につながると考えており、農業や食品関連産業だけでなく、観光、福祉等の地域全体を巻き込んだアグリビジネスユートピア構想を推進するとしています。



アグリビジネスユートピア構想 (有限会社ワールドファーム HP から)

2020年の県内卸売市場における青果物・花きの流通動向

食育消費流通課

1 名古屋市中心卸売市場及び県内地方卸売市場の青果物について

(1) 2020年の野菜及び果実取扱数量

野菜については、名古屋市中心卸売市場の取扱数量は41万9千t（2015年比104.6%）で、5年前と比べて1万9千t増加しました（表1）。このうち、県内産野菜は7万tでした。一方、県内地方卸売市場の取扱数量は10万7千t（同82.9%）で、5年前と比べて2万2千t減少しました。このうち、県内産野菜は4万1千tでした。

果実については、名古屋市中心卸売市場の取扱数量は9万4千t（同85.9%）で、5年前と比べて1万5千t減少しました。このうち、県内産果実は1万tでした。一方、県内地方卸売市場の取扱数量は3万8千t（同77.1%）で、5年前と比べて1万1千t減少しました。このうち、県内産果実は1万4千tでした。

(2) 青果物の取扱数量における動向

県内地方卸売市場では、名古屋市中心卸売市場と比べ、野菜、果実ともに取扱数量の減少率が大きくなっています。その主な要因として、小規模農家の減少や、個人農家の販売チャンネルが多様化していることにより、地方卸売市場への出荷量が減少していることが挙げられます。

表1 県内の中央卸売市場および地方卸売市場における青果物の取扱数量

		2020年			2015年		
		全体	県内産	県産シェア	全体	県内産	県産シェア
名古屋市中心	野菜	41.9	7.0	16.7%	40.0	7.5	18.8%
	果実	9.4	1.0	10.6%	10.9	1.2	11.0%
県内地方	野菜	10.7	4.1	38.3%	12.9	5.4	41.9%
	果実	3.8	1.4	36.8%	4.9	1.8	36.7%

[単位: 万t]

(注) 表は小数点以下第2位を四捨五入しています。

2 県内地方卸売市場の花きについて

(1) 2020年の切り花及び鉢物取扱数量

切り花の取扱数量は1億9千9百万本（同84.4%）で、5年前と比べて3千7百万本減少しました（表2）。このうち、県内産切り花は7千4百万本でした。

鉢物（花壇用苗物等含む）の取扱数量は5千7百万鉢（同84.7%）で、5年前と比べて1千1百万鉢減少しました。このうち、県内産鉢物は2千2百万鉢でした。

※名古屋市中心卸売市場は花きの取り扱いがない

(2) 花きの取扱数量における動向

切り花、鉢物ともに、市場全体及び県内産の取扱数量は減少傾向にあります。

また、主要品目では、減少傾向にある品目が多い一方で、切り花のスプレーギク、鉢物の観葉植物の取扱数量は比較的安定しています。

表2 県内の地方卸売市場における花きの取扱数量

		2020年			2015年		
		全体	県内産	県産シェア	全体	県内産	県産シェア
県内地方	切り花	19.9	7.4	37.2%	23.6	10.0	42.4%
	鉢物	5.7	2.2	38.6%	6.8	2.9	42.6%

[単位: 千万本、千万鉢]

(注) 表は小数点以下第2位を四捨五入しています。

「あいち花マルシェ 2021」を開催しました！

園芸農産課

本県は、58年連続で花き生産日本一を誇る「花の王国」です。県民参加型の「花と緑のイベント」を毎年開催し、「花の王国あいち」のPRに取り組んでいます。

本年度は、県民の皆様が本県の素晴らしい花を見て、触れて、直接購入できる「あいち花マルシェ 2021」を名古屋市栄エリア一帯で開催し、あいちの花の魅力を広くPRしました。

1 開催概要

(1) 期 日

2021年11月20日（土）から23日（火・祝）まで

(2) 場 所

名古屋市 栄エリア一帯

オアシス21、久屋大通庭園フラリエ、ヒサヤオオドリパーク

(3) 主 催

あいち花マルシェ 2021 実行委員会

（愛知県、名古屋市、中日新聞社、JAグループ愛知、愛知県花き温室園芸組合連合会、名古屋生花小売商業協同組合、（一社）JFTD）

2 あいち花マルシェ 2021 の結果

(1) 来場者数

約36,500人

(2) 花マルシェ（あいちの花の販売）売上

約400万円

(3) 結果の概要

新型コロナウイルス感染症の県内感染状況が落ち着きをみせる中、感染防止対策を講じて開催しました。3会場それぞれに多くの方が来場され、花マルシェでは、「あいちの花」を購入していただきました。また、「あいちの花」3,000本で彩った花馬車がファンタジーの世界を演出し、フォトスポットとして賑わいました。

来場者からは、「フォトスポットが多く、家族で楽しめた。」「たくさんの素敵な花が販売されていて驚いた。」という声が聞かれました。

3 内 容

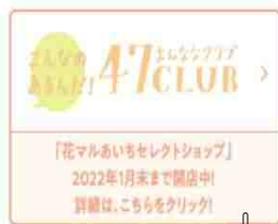
(1) 花マルシェ

「オアシス21」で、県内の生産者団体とお花屋さんがコラボした「花の王国あいち」のお花屋さんや県内小売店が季節の「あいちの花」の切花や鉢花などを販売しました。

日本全国45の地方新聞社が厳選した逸品を集めたお取り寄せサイト「47CLUB」内のあいちの花を購入できる専用ページ「花マルあいちセレクトショップ」であいちの花を1月末までオンライン販売しています。



オアシス 2 1 : 「花の王国あいち」のお花屋さん



特設 Web サイトから



オンラインマルシェ : 「花マルあいちセレクトショップ」のページ

(2) あいちフラワーコンテスト

久屋大通庭園フラリエで開催した「あいちフラワーコンテスト」に県内の花き生産者から切花・鉢物 280 点が出品されました。審査の後、イベント期間中に一堂に展示し、展示終了後に販売しました。



コンテスト展示 (左 : 切花、右 : 鉢物)

(3) 花のディスプレイ

「あいちの花」で彩った花馬車、生産者団体のディスプレイ展示、キャンプをテーマとしたガーデニング展示を行いました。



左：＜オアシス21＞花馬車、中：＜久屋大通庭園フラリエ＞愛知県花き連花きPR部会
右：＜ヒサヤオオドリパーク＞秋の花キャン！

(4) ステージイベント

プロが魅せるフラワーデザイン、名古屋モード学園の学生によるファッションショーなどで会場を盛り上げました。



フラワーデザインデモンストレーション フラワーファッションショー

(5) その他

県民参加型イベントとして、花の体験教室やスタンプラリーも行いました。また、コロナウィルスワクチン接種済証を呈示された方に花の種ををプレゼントしました。



体験教室



ワクチン接種済証呈示

「フローラル・イノベーション 2021」が開催されました

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

2021年11月24日（水）から26日（金）にかけて「フローラル・イノベーション 2021」（主催：一般社団法人日本能率協会）が東京ビッグサイト青海展示棟（東京都江東区）で開催されましたので、概要を紹介します。

1 フローラル・イノベーションと出展物

「フローラル・イノベーション」は、新たな付加価値を創出し、花の消費を拡大するために開催された専門展示会で、企業や協議会が6つの展示を行っていました。展示ブースでは、(株)日比谷花壇が独自のサブスクリプション方式の花の宅配サービス「ハナノヒ 365days」や花の自動販売機の紹介をしていた他、インパック(株)がSDGsに配慮して原料の一部に植物由来の原料を配合したバイオマススリーブ(切花袋)などを展示していました。また、フラワー需給マッチング協議会は、実需者の使用実態に合った切花の新規格である「スマート規格」を紹介していました。規格の例として、加工時の茎葉ゴミの処理コストや輸送コスト低減等に効果のある、通常長さより短いスプレー菊などが展示されていました。



花の自動販売機で販売される商品



スマート規格（70cm）のスプレー菊

2 講演会

(株)大田花き栄戸氏から、市場目線からのコロナ禍を転機とした最近の花のトレンドについて説明がありました。葬儀やブライダルなどの業務需要が縮小し家庭需要が伸びていること、サブスク向けやエンカル消費向けなどで求められる新しい規格に、生産出荷する側が対応できていないこと、インスタグラムを中心にSNSを起点とした消費が多いことなどが紹介されました。

また、三和陸運(株)井上氏からは、年間の時間外労働時間の規制による「物流の2024年問題」に係る改善策として、花き運送業界が一丸となって物流のハブアンドスポーク化に取り組み、コスト削減やドライバー不足の解消に努めていく必要があることが提言されました。

展示や講演会を通して、加工時の茎葉ゴミの処理コストの問題や、花のサブスクをはじめとした家庭需要の拡大等で切花に求められる規格や種類が大きく変わってきていることを実感しました。本県においても輪菊の短茎多収栽培技術の開発を行っていますが、実需者のニーズをしっかりと把握し、新しい需要に対応していく必要性を強く感じました。

愛 知 産 青 果 物 の 動 向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ± 1 % 台以下
 わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：こまつな）

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)	愛知産	前年の主な他産地 (上位3産地)
3年実績※	3,348	337 (10%)	300	271	茨城(48%) 岐阜(27%) 静岡(10%)
4年見通し	3,010	—	300	—	
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>12月後半に入り、冷え込みが強くなったことで生育が鈍り、低温が続く2月前半頃までは落ち着いた入荷となる見込み。品質面では、霜や雪により葉焼け症状が出るのが懸念される。</p> <p>2月後半からは気温の上昇に合わせて入荷量が増加する予想。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並となる見込み。</p>			<p>愛知は高齢化により入荷量が減少傾向にあるが、これからも地元産を安定供給していくため、作付面積と出荷量の維持を引き続きお願いしたい。</p> <p>※令和3年12月の実績が出ていないため、令和2年12月～令和3年11月の数値を令和3年実績として標記しています。</p>		

○ 東京都中央卸売市場（品目：セルリー）

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)	愛知産	前年の主な他産地 (上位3産地)
3年実績※	8,149	547 (7%)	248	193	長野(39%) 静岡(28%) 福岡(9%)
4年見通し	7,900	—	255	—	
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>全国的に作付面積は減少傾向で、愛知を含めた秋冬産地の主力である静岡もやや減少している。</p> <p>秋冬産地では定植時の高温及び長雨の影響で出荷始め時期の出荷量は少なく、一部に病害がみられたものの次第に回復しており、1月には潤沢となる見込み。潤沢になるに伴い価格も軟化する。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>			<p>日量格差の少ない安定出荷とともに、提供いただく出荷情報の精度の向上をお願いしたい。また、個人間で品質格差がみられるので是正を期待する。さらに、特売・販促の実施が望まれる。</p> <p>※令和3年12月の実績が出ていないため、令和2年12月～令和3年11月の数値を令和3年実績として標記しています。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の1月の見通し

名古屋市中央卸売市場

※グラフは白抜き箇所が見通しとなります。

12月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地 (%)			
				上旬	中旬	下旬	
野菜計	29年	30,864	235	261	225	218	愛知 25%
	30年	28,157	290	365	271	261	北海道 22%
	元年	29,711	227	261	218	215	茨城 12%
	2年	30,386	216	254	206	200	熊本 5%
	3年	32,315	223	241	218	213	静岡 5%
	5ヵ年平均	30,287	237	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	29,600	245	—	—	—	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>愛知、北海道、茨城などが中心となる。じゃがいも、たまねぎ、トマト類は他産地の不作の影響で入荷が減少する見込み。葉物類は概ね生育順調で安定した入荷となる見通し。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>						
	だいこん	29年	1,733	80	90	78	82
30年		1,442	183	217	205	142	静岡 24%
元年		1,704	64	75	61	65	鹿児島 16%
2年		1,721	68	91	68	61	愛知 14%
3年		1,633	88	102	85	85	徳島 10%
5ヵ年平均		1,647	94	112	96	85	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
4年見通し		1,650	80	90	80	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>千葉、静岡、鹿児島などから入荷する。各産地ともに天候に恵まれ生育順調で、太物中心の入荷となる見込み。今後暖冬となれば厳しい販売となる予想。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
にんじん		29年	1,882	130	136	129	130
	30年	1,509	182	172	194	172	鹿児島 3%
	元年	1,853	101	109	106	93	長崎 2%
	2年	1,965	97	123	105	79	千葉 2%
	3年	2,166	118	133	130	102	
	5ヵ年平均	1,875	123	133	130	112	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	2,100	115	130	120	100	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>愛知を中心に入荷する。各産地、前年同様に生育良好で豊作傾向。2Lが多く、販売に苦戦する予想。中旬以降、安定した入荷を見込む。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>						

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

12月28日 現在

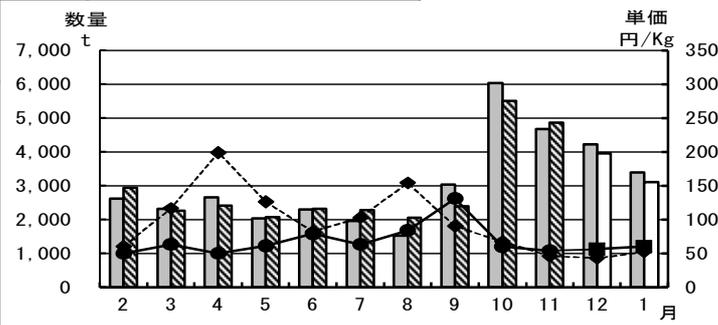
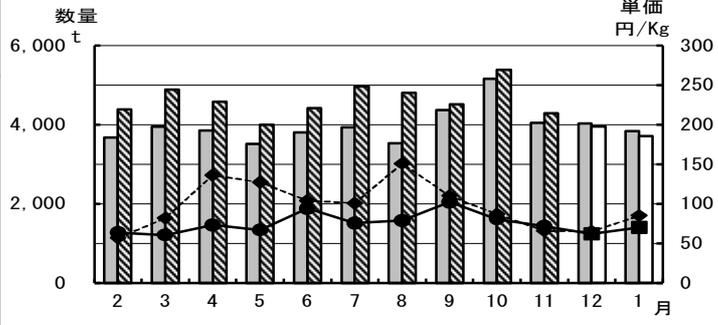
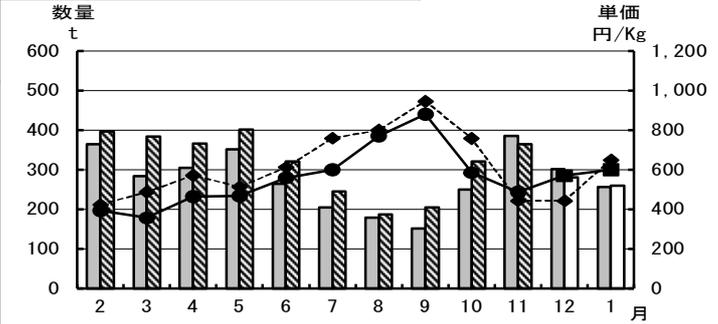
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
野菜計	29年	123,907	252	276	242	246	茨城 19%	
	30年	108,242	321	385	300	297	千葉 17%	
	元年	115,548	242	264	234	235	北海道 12%	
	2年	119,510	234	269	221	223	愛知 9%	
	3年	113,571	249	265	241	244	神奈川 5%	
	5ヵ年平均	116,156	259	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	4年見通し	116,000	240	—	—	—		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、千葉など関東産地からの入荷が中心となる。前月はだいこんが出荷調整され、キャベツ等の葉物野菜も潤沢であったが、その流れは変わらず。果菜類は重油高騰の影響で、冷え込むと入荷量が減るか。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
	だいこん	29年	13,153	81	90	73	81	千葉 44%
30年		9,325	193	222	203	157	神奈川 43%	
元年		10,975	67	70	64	67	鹿児島 5%	
2年		11,290	75	88	72	67	徳島 3%	
3年		10,597	90	103	80	88	青森 1%	
5ヵ年平均		11,068	98	110	94	90	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
4年見通し		11,500	80	85	75	80		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、神奈川からの入荷が中心となる。主力の関東産地は前準傾向であったが12月の冷え込みで生育が緩慢になった。肥大や品質は良好。不足感のない出回りが見込まれる。相場展開により出荷調整となるか。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>						
にんじん		29年	6,787	155	152	155	155	千葉 84%
	30年	6,012	154	140	150	169	埼玉 6%	
	元年	7,049	103	102	114	93	茨城 3%	
	2年	6,378	129	143	131	119	中国 1%	
	3年	6,788	141	142	143	138	鹿児島 1%	
	5ヵ年平均	6,603	136	135	138	134	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	4年見通し	6,900	125	130	125	120		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉を中心に埼玉などからの入荷となる。主力の千葉は生育順調で、肥大も良好。12月に天候の影響で収穫作業が遅れ気味であったものの、今後は順調に進むと見込まれ、出回り量は平年以上か。入荷量は前年並となり、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

12月15日現在

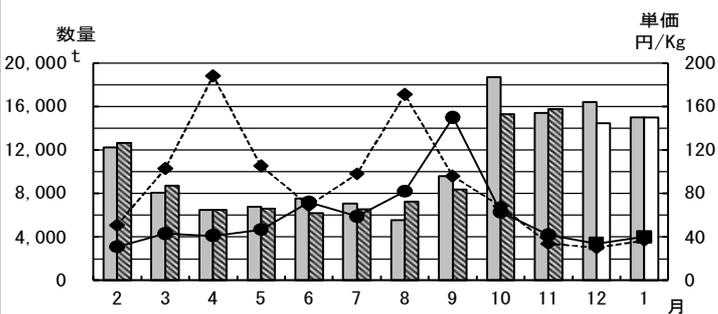
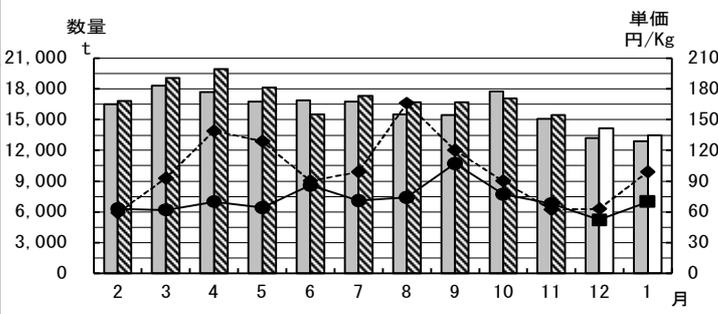
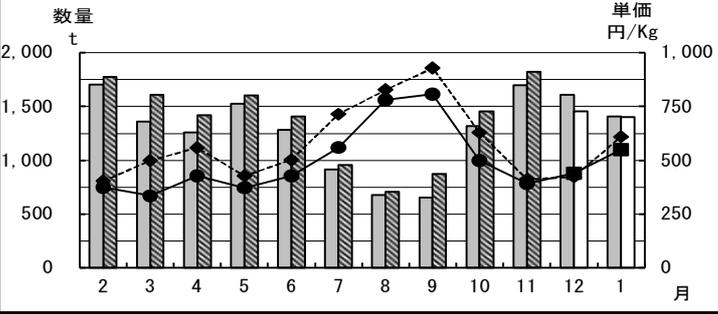
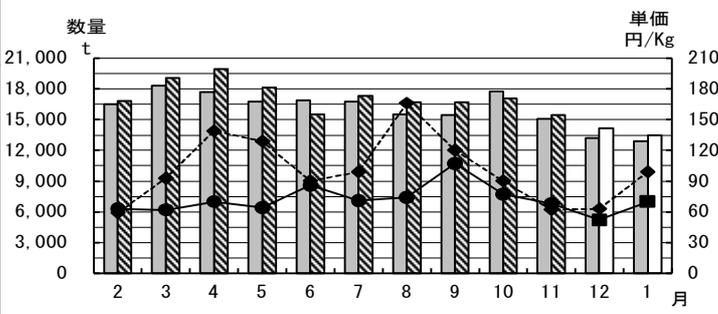
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)		
			上旬	中旬	下旬			
ほうき	29年	2,430	101	116	102	92	茨城	62%
	30年	2,875	170	188	166	163	愛知	17%
	元年	3,222	49	57	48	46	兵庫	13%
	2年	2,859	64	84	60	55	三重	3%
	3年	3,383	52	55	53	51	宮崎	2%
	5ヵ年平均	2,954	85	97	83	79	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	4年見通し	3,100	60	60	60			
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	茨城、兵庫、愛知を中心に入荷する。各産地とも生育順調で、安定した入荷となる見通し。漬物・加工業務はまだまだ厳しい状況が続く見通しで、量販店中心の販売となる見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年をかなり上回る見込み。							
								
キャベツ	29年	3,224	100	102	99	97	愛知	74%
	30年	2,728	178	258	179	143	茨城	19%
	元年	2,711	92	78	94	100	滋賀	3%
	2年	3,241	60	72	57	58	三重	2%
	3年	3,834	85	86	87	85	静岡	1%
	5ヵ年平均	3,147	100	115	100	95	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	4年見通し	3,700	70	70	70			
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	愛知を中心に茨城などから入荷する。各産地ともに生育は順調で平年並みの入荷を見込む。愛知は生育良好で順調な入荷見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。							
								
ほうれんそう	29年	362	486	416	495	529	愛知	52%
	30年	196	906	1,047	849	887	茨城	21%
	元年	263	534	504	550	544	群馬	9%
	2年	310	523	618	526	486	岐阜	7%
	3年	256	649	732	680	596	徳島	4%
	5ヵ年平均	278	593	625	597	585	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	4年見通し	260	600	650	600	550		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	愛知を中心に茨城などから入荷する。愛知の露地物は冷え込みの影響で前年より微減、茨城は他品目からの作柄変更により前年より微増となる予想。 入荷量は前年並、価格は前年をかなり下回る見込み。							
								

東京都中央卸売市場

12月28日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
ほうき	29年	13,811	93	101	96	86	茨城 89%	
	30年	13,431	149	146	147	153	群馬 6%	
	元年	14,178	37	41	38	35	埼玉 2%	
	2年	13,992	60	72	57	53	兵庫 2%	
	3年	15,004	37	37	37	36	北海道 1%	
	5ヵ年平均	14,083	74	78	74	71	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	4年見通し	15,000	40	35	40	45		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城を中心に、群馬などからの入荷となる。前年は豊作で安値となったが、本年も主力の茨城は天候に恵まれ、生育順調で肥大良好。鍋需要で引き合いあるも、潤沢な出回りにより安値基調が続く見込み。 入荷量は前年並となり、価格は安値だった前年をかなり上回る見込み。</p>  <p>数量 (トン) と 単価 (円/kg) の月別推移。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は2月と10月にピークを記録し、単価は4月に最高値をマークしています。</p>					
	<p>愛知を中心に、千葉、神奈川などからの入荷となる。主要産地はいずれも天候に恵まれて生育順調で前進傾向。十分な量が植わっており、多少冷え込んでも安定した入荷が続く、安値基調が続くか。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>  <p>数量 (トン) と 単価 (円/kg) の月別推移。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は4月にピークを記録し、単価は12月に最低値をマークしています。</p>							
	ほうれんそう	29年	1,621	458	467	433	479	群馬 37%
30年		1,164	815	1,045	718	769	茨城 32%	
元年		1,319	535	589	545	495	埼玉 11%	
2年		1,564	527	689	485	476	千葉 10%	
3年		1,409	610	708	588	563	栃木 7%	
5ヵ年平均		1,415	577	682	543	546	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
4年見通し		1,400	550	600	550	500		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、茨城など関東産地からの入荷が中心となる。茨城等で転作により作付増加。産地により前進傾向も、冷え込みで生育は停滞気味。群馬では病害の発生があり出荷量への影響が心配される。 入荷量は前年並となり、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>  <p>数量 (トン) と 単価 (円/kg) の月別推移。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は11月にピークを記録し、単価は9月に最高値をマークしています。</p>						
<p>愛知を中心に、千葉、神奈川などからの入荷となる。主要産地はいずれも天候に恵まれて生育順調で前進傾向。十分な量が植わっており、多少冷え込んでも安定した入荷が続く、安値基調が続くか。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>  <p>数量 (トン) と 単価 (円/kg) の月別推移。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は4月にピークを記録し、単価は12月に最低値をマークしています。</p>								

名古屋市中央卸売市場

12月15日現在

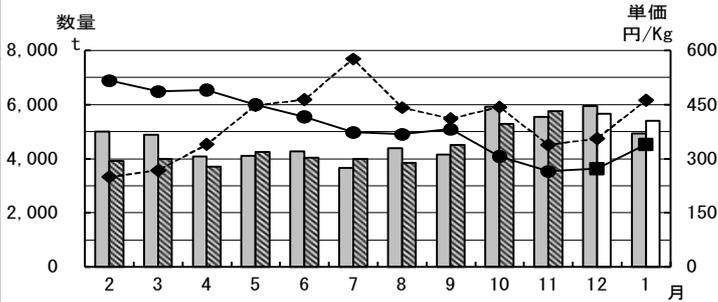
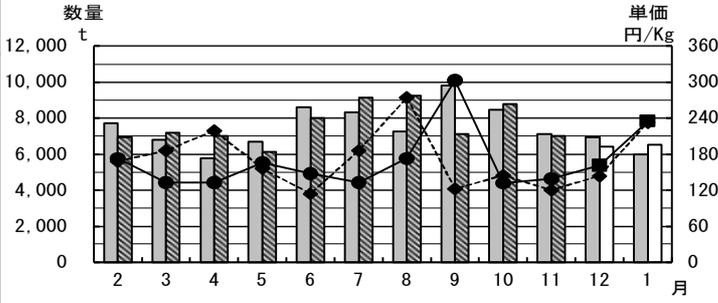
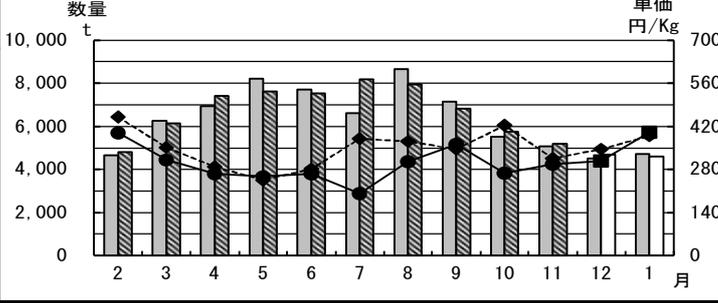
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	29年	995	424	473	439	385	大分 28%
	30年	844	498	557	523	460	静岡 21%
	元年	969	362	466	371	306	愛知 9%
	2年	1,044	348	434	360	295	長野 9%
	3年	854	490	582	518	410	群馬 9%
	5ヵ年平均	941	420	498	437	367	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	950	380	450	350	340	
ぎ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>静岡、大分、群馬、愛知などから入荷する。大分と静岡が中心の白ねぎは、太りが戻り、増加傾向。愛知の越津ねぎは順調な入荷が続くと予想される。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見通し。</p>						
しそ	29年	1,576	228	203	217	267	兵庫 31%
	30年	1,136	446	646	393	339	静岡 21%
	元年	1,465	244	251	250	235	愛知 20%
	2年	1,636	220	232	211	225	熊本 12%
	3年	1,369	247	243	229	262	長崎 8%
	5ヵ年平均	1,436	268	297	252	261	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	1,400	250	200	250	300	
ス	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>兵庫、静岡、愛知などから入荷する。厳寒期で小玉傾向であるが、上旬までは大きな入荷の谷はない見込み。全国的な栽培面積は前年に比べ5%程度減少している。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並となる見込み。</p>						
きゅうり	29年	1,189	368	369	367	368	愛知 57%
	30年	1,198	424	414	426	432	宮崎 20%
	元年	1,312	221	166	233	276	高知 13%
	2年	1,184	522	529	444	592	鹿児島 11%
	3年	1,235	360	344	353	381	
	5ヵ年平均	1,223	376	360	362	407	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	1,200	365	350	350	400	
り	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>愛知を中心に宮崎、高知、鹿児島から入荷する。気温の低下により太物は少なくなる見込み。上中旬は順調な入荷見込み、下旬は節分需要があり、若干価格が上がる見込み。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並となる見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

12月28日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	29年	5,559	365	454	358	313	千葉 27%
	30年	4,940	424	498	389	409	茨城 22%
	元年	5,578	318	386	317	274	埼玉 19%
	2年	5,831	304	368	242	215	群馬 10%
	3年	4,935	462	538	442	425	栃木 9%
	5ヵ年平均	5,369	371	445	345	322	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	5,400	340	390	350	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、茨城、埼玉など関東産地からの入荷が中心となる。各産地とも生育順調で肥大も良好。主力の千葉は2L比率が高まる。年末の寒波等の寒さによる葉枯れが心配される。</p> <p>入荷量は前年をかなり上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ぎ							
し	29年	7,889	219	197	208	253	静岡 36%
	30年	5,144	450	681	400	330	長崎 14%
	元年	6,945	240	247	245	230	兵庫 12%
	2年	7,409	209	218	199	210	香川 10%
	3年	5,996	233	229	216	250	熊本 6%
	5ヵ年平均	6,677	259	292	245	250	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	6,500	235	240	230	235	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>静岡、長崎、兵庫などからの入荷が中心となる。各産地とも気温高により生育は前進傾向であったが、12月の冷え込みにより生育は鈍化。作柄は良好で安定した入荷を見込むが、寒波が来ると端境ができるか。</p> <p>入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年並となる見込み。</p>					
ス							
きゅうり	29年	4,911	393	393	400	389	宮崎 44%
	30年	4,720	462	432	478	475	高知 18%
	元年	4,553	458	518	439	425	千葉 15%
	2年	4,062	607	647	504	674	群馬 7%
	3年	4,711	389	364	394	406	茨城 6%
	5ヵ年平均	4,591	457	465	441	468	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	4,600	400	400	380	420	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>宮崎、高知、千葉からの入荷が中心となる。各産地とも生育順調。冷え込みのため生育は緩慢になっているものの、着果は安定しており不足感のない出回りが見込まれる。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は安値だった前年をわずかに上回る見込み。</p>					
う							

名古屋市中央卸売市場

12月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	29年	377	394	366	388	426	熊本 54%
	30年	390	444	452	441	444	愛知 41%
	元年	400	394	375	384	422	高知 4%
	2年	415	407	388	390	451	
	3年	367	396	356	385	442	
	5ヵ年平均	390	407	388	398	437	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	390	394	360	390	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>熊本、愛知を中心に入荷する。各産地ともに生育順調で、安定した入荷となる見込み。上旬は数量が多くなるが中旬以降は落ち着き、下旬は価格が上がってくる見込み。</p> <p>入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年並となる見込み。</p>							
ト マ ト	29年	976	384	406	377	376	熊本 56%
	30年	1,186	352	423	347	297	愛知 19%
	元年	1,104	258	237	258	282	岐阜 12%
	2年	1,065	285	252	283	320	三重 11%
	3年	1,267	242	261	254	220	大分 1%
	5ヵ年平均	1,120	301	314	301	295	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	1,110	266	250	250	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>熊本、愛知、三重、岐阜が中心となる。熊本は病害虫の発生や生育不良により中下旬以降の入荷は少ない予想。その他産地は平年並みの入荷となる見込み。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年をかなり上回る見込み。</p>							
ミ ニ ト マ ト	29年	390	779	823	753	787	熊本 69%
	30年	389	756	730	767	787	愛知 23%
	元年	500	576	509	569	659	和歌山 5%
	2年	463	573	464	581	694	宮崎 3%
	3年	539	513	449	551	548	
	5ヵ年平均	456	626	577	632	684	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	490	560	500	570	600	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>熊本、愛知を中心に入荷する。年末年始の滞留在庫により上旬は潤沢な入荷となるが、中旬以降は徐々に落ち着き、価格は上がっていく見込み。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年をかなり上回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

12月28日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品 目 名	区分 実績 と見通し	入 荷 量	卸 売 価 格			前年主要産地 (%)	
			上 旬	中 旬	下 旬		
な	29年	2,030	441	413	446	463	高知 65%
	30年	2,130	460	431	475	476	福岡 15%
	元年	1,974	453	405	441	512	熊本 12%
	2年	2,032	463	413	447	539	佐賀 3%
	3年	1,966	459	409	470	499	栃木 2%
	5ヵ年平均	2,026	455	414	456	498	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	2,000	455	420	465	480	
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>高知、福岡、熊本などからの入荷が中心となる。各産地とも生育は順調。成り疲れから回復し、着果は安定していることから順調な入荷を見込む。冷え込みが大きいと重油高騰による加温控えのため、入荷量が減り価格は上向くか。 入荷量、価格とも前年並となる見込み。</p>						
マ ト	29年	5,223	424	414	413	421	熊本 48%
	30年	5,692	397	465	391	337	栃木 16%
	元年	5,767	314	294	308	337	愛知 13%
	2年	5,243	336	312	327	373	静岡 5%
	3年	5,937	299	314	310	277	千葉 3%
	5ヵ年平均	5,572	353	359	349	347	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	5,500	410	430	410	390	
ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本、栃木、愛知からの入荷が中心となる。各産地とも生育は概ね順調で着果は良好。熊本で見られていた障害果は減少傾向。一部産地での病害発生のほか、冷え込みと重油高による加温控えが懸念材料。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>						
ミ ト	29年	1,571	754	804	716	744	熊本 45%
	30年	1,615	724	706	724	746	愛知 18%
	元年	1,885	554	481	538	652	千葉 11%
	2年	1,776	571	473	566	681	宮崎 9%
	3年	1,979	505	466	529	521	静岡 6%
	5ヵ年平均	1,765	613	575	607	662	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	1,800	610	590	600	640	
ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本、愛知、千葉などからの入荷となる。主力の熊本を始め各産地とも生育は順調。着果も良好で入荷量に不足はない見込み。重油高のため加温を控えると出回りは少なくなると懸念される。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>						

名古屋市中央卸売市場

12月15日現在

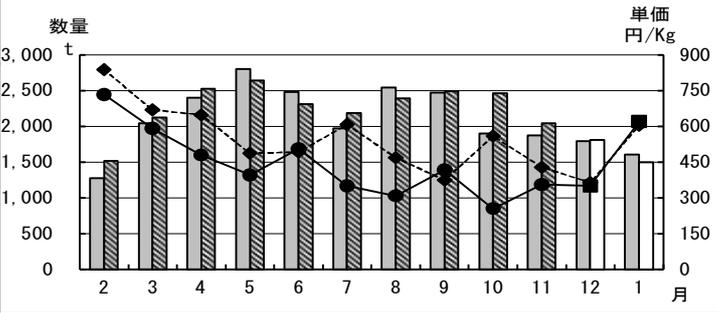
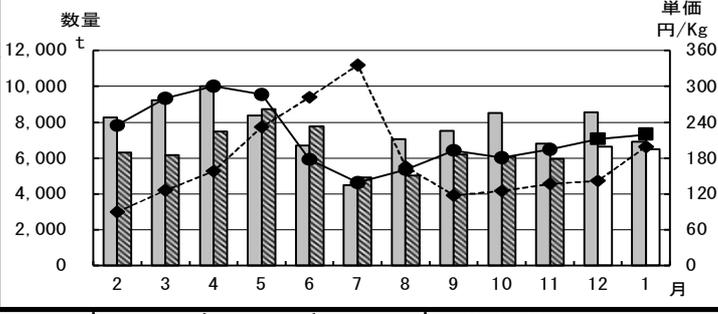
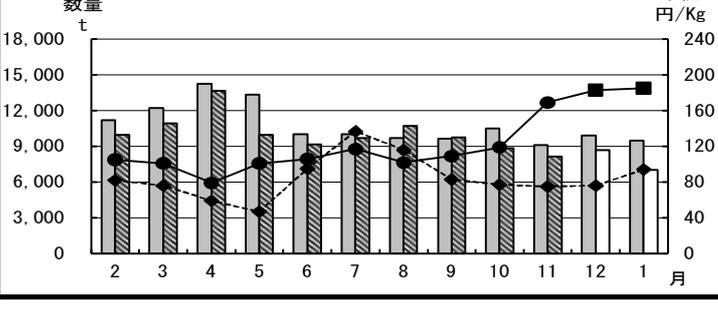
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	29年	493	499	405	520	581	鹿児島 57% 宮崎 34% 高知 10%
	30年	408	689	598	687	731	
	元年	349	654	569	667	694	
	2年	361	637	567	607	794	
	3年	411	553	442	584	643	
	5ヵ年平均	404	600	509	608	681	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	400	600	550	600	650	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>鹿児島、宮崎、高知から入荷する。上旬までは安定した入荷となるが、中旬以降は成り疲れから入荷量が減少し、高値になる見込み。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
ばれいしょ	29年	2,388	202	192	198	210	北海道 59% 長崎 26% 鹿児島 16%
	30年	2,614	123	102	122	133	
	元年	2,553	120	116	119	121	
	2年	2,864	81	88	84	74	
	3年	2,605	205	158	207	227	
	5ヵ年平均	2,605	144	129	144	151	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	2,300	200	200	200	200	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道を中心に長崎、鹿児島から入荷する。北海道の貯蔵物は引き続き計画出荷だが、在庫は少ない。鹿児島と長崎は干ばつの影響により小玉傾向で、入荷量は少ない見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は高値だった前年をわずかに下回る見込み。</p>					
たまねぎ	29年	6,407	80	78	81	80	北海道 93% 静岡 7%
	30年	5,146	96	101	95	96	
	元年	4,992	122	138	115	126	
	2年	4,469	82	80	84	83	
	3年	5,817	85	82	88	86	
	5ヵ年平均	5,366	92	95	92	93	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	4年見通し	4,500	160	160	160	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道主体で静岡からも一部入荷する。北海道は小玉傾向でM中心の入荷を見込む。静岡、愛知の新たまねぎの入荷は1月より開始見込み。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

12月28日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
ピーマン	29年	1,539	549	474	549	608	宮崎 54%	
	30年	1,380	728	657	751	766	高知 20%	
	元年	1,315	714	633	730	754	鹿児島 14%	
	2年	1,348	703	617	655	835	茨城 11%	
	3年	1,603	604	493	610	686		
	5ヵ年平均	1,437	655	569	654	725	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	4年見通し	1,500	620	480	640	740		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	宮崎を中心に、高知、鹿児島などからの入荷となる。各産地とも生育順調。成り疲れは一段落し、着果数や果実肥大は良好。安定した入荷を見込むも、重油高での加温控えにより減量となるか。入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。							
	ばれいしょ	29年	7,268	198	192	192	207	北海道 66%
30年		7,390	123	117	123	125	長崎 19%	
元年		7,626	118	124	118	115	鹿児島 14%	
2年		8,307	87	89	87	85		
3年		6,932	199	166	199	217		
5ヵ年平均		7,505	143	136	141	147	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
4年見通し		6,500	220	220	220	220		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
北海道と九州からの入荷となる。貯蔵から入荷の北海道は夏場の干ばつのため不作で、引き続き数量は少ない。九州も長雨のため定植が遅れ、その後も高温、干ばつで生育遅れと肥大不足の様相も回復に期待。入荷量は前年をかなり下回り、価格は高値だった前年をかなり上回る見込み。								
たまねぎ		29年	10,342	97	93	96	99	北海道 87%
	30年	9,520	107	101	103	115	静岡 11%	
	元年	8,179	144	132	140	153	中国 1%	
	2年	8,126	95	93	96	94		
	3年	9,474	94	91	96	94		
	5ヵ年平均	9,128	107	101	105	110	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	4年見通し	7,000	185	180	185	190		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	北海道を中心に静岡などからの入荷となる。北海道は夏場の干ばつにより不作で、貯蔵量が少なく、入荷量は少なくなる。静岡は順調な生育で前進傾向。総じて出回りは少なめで高値が続く見込み。入荷量は前年を大幅に下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。							

名古屋市中央卸売市場

12月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	29年	8,115	372	425	338	366	静岡 24%
	30年	6,999	440	482	427	400	青森 20%
	元年	7,988	394	402	367	385	愛知 13%
	2年	7,344	416	462	339	382	フィリピン 12%
	3年	8,204	382	426	366	374	熊本 6%
	5ヵ年平均	7,730	399	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
4年見通し	6,000	470	—	—	—		
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	いちご、みかん、りんごなどが主な品目となる。多くの品目で入荷量が減少し、大玉が少ない傾向。りんごではさび果、小玉果の販売が急務となる。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。						
み	29年	3,057	239	264	215	259	静岡 65%
	30年	1,833	401	425	425	360	愛知 20%
	元年	2,681	285	282	281	296	和歌山 10%
	2年	2,345	289	324	301	272	三重 4%
	3年	2,954	241	258	230	241	徳島 1%
	5ヵ年平均	2,574	281	300	278	279	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
4年見通し	2,300	290	320	300	280		
みん	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	静岡を中心に愛知などからも入荷する。各産地とも生育が前進傾向である。また、裏年であるため、全体の数量は平年より2割程度減少する見通し。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。						
い	29年	566	1,464	1,469	1,424	1,471	愛知 52%
	30年	598	1,540	1,704	1,494	1,421	熊本 30%
	元年	635	1,440	1,493	1,430	1,481	鹿児島 6%
	2年	508	1,737	1,918	1,670	1,644	三重 3%
	3年	687	1,469	1,570	1,431	1,411	宮崎 2%
	5ヵ年平均	599	1,522	1,620	1,483	1,479	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
4年見通し	620	1,500	1,500	1,500	1,500		
いちご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	愛知、熊本を中心に入荷する。愛知は中旬に向けて数量が減少し、大玉が少ない見込み。中旬以降は2番果の入荷により増量する見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。						

東京都中央卸売市場

12月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	29年	36,736	427	493	402	415	静岡 20%
	30年	31,100	507	610	481	476	青森 15%
	31年	34,638	453	516	423	446	愛媛 14%
	2年	33,257	457	545	430	435	和歌山 8%
	3年	35,662	448	516	423	432	熊本 7%
	5ヵ年平均	34,279	459	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
4年見通し	34,500	460	—	—	—		
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	みかんを中心にいちご、りんごなどが入荷する。前月に続きりんごは春先の霜害で各産地入荷量少ない見込み。その他の品目も前年ほど多い入荷量とはならないことから、単価は堅調となる見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。						
み	29年	15,379	266	268	260	270	静岡 46%
	30年	10,940	377	379	382	369	和歌山 14%
	31年	13,524	301	286	292	318	愛媛 13%
	2年	13,991	276	279	277	274	熊本 10%
	3年	14,575	252	248	249	258	長崎 8%
	5ヵ年平均	13,682	290	287	287	294	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
4年見通し	14,000	270	265	265	280		
みかん	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	静岡を中心に和歌山、愛媛などから入荷する。年内の天候が良かったことから各産地生育は順調で、食味も良好。荷動きも悪くなく、前年のような安値にはならない見込み。 入荷量は多かった前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。						
いちご	29年	3,779	1,458	1,459	1,448	1,466	栃木 50%
	30年	3,780	1,549	1,702	1,517	1,436	福岡 14%
	31年	3,839	1,473	1,499	1,420	1,490	茨城 11%
	2年	3,000	1,799	1,975	1,739	1,692	静岡 8%
	3年	4,390	1,474	1,531	1,431	1,460	長崎 5%
	5ヵ年平均	3,758	1,538	1,615	1,499	1,500	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
4年見通し	4,000	1,550	1,500	1,550	1,600		
いちご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	栃木を中心に福岡、茨城などから入荷する。栃木は前進出荷と12月の低温で年末の入荷量少なかったが、1月は2番果が順調に入荷する見込み。福岡は1番果の入荷が遅れていたが、年末から増加傾向。 入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。						

切花・鉢花の1月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 12月29日現在）

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	29年	1,629	53	
		30年	1,576	53	
		元年	1,666	54	
		2年	1,485	53	
		3年	1,222	33	
5カ年平均		1,516	50		
4年見通し		1,300	50		
概要	愛知を中心に入荷する。入荷量は中旬ごろから安定しそうだが、平年よりも少ない入荷が予想される。相場展開は業務の需要状況で動くと思われる。				
小 ぎ	実績	29年	927	21	
		30年	614	35	
		元年	684	40	
		2年	813	30	
		3年	542	32	
5カ年平均		716	31		
4年見通し		600	32		
概要	沖縄を中心に入荷する。上旬は入荷量少なめで、中旬以降に安定してくる見込み。平年よりも入荷量は少ないと思われる。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	29年	802	40	
		30年	746	45	
		元年	864	46	
		2年	874	41	
		3年	735	35	
5カ年平均		804	42		
4年見通し		800	40		
概要	愛知を中心に入荷する。輸入は不安定要素もあるが前年並に推移し、全体の入荷量も例年並の予想。				
か す み	実績	29年	171	65	
		30年	174	70	
		元年	167	57	
		2年	148	82	
		3年	118	76	
5カ年平均		156	69		
4年見通し		125	70		
概要	高知、和歌山、熊本からの入荷となる。平年に比べて寒くなる予報であるため、少なめの入荷となる見込み。				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
	実績等				数量 千本	単価 円/本
ゆり	実績	29年	233	217		
		30年	209	326		
		元年	235	180		
		2年	122	282		
		3年	169	179		
5カ年平均		194	233			
4年見通し		170	200			
概要	<p>オリエンタルは高知、宮崎、埼玉、愛知から、鉄砲は高知、鹿児島から、L Aは埼玉、高知から入荷する。オリエンタルは年末用がずれ込んでいる品種もあり、年明けの入荷は多そうであるが、その後は落ち着いた入荷になりそう。</p>					
洋らん	実績	29年	461	71		
		30年	394	84		
		元年	449	72		
		2年	469	81		
		3年	274	78		
5カ年平均		409	77			
4年見通し		270	80			
概要	<p>高知、徳島、愛知、静岡等の国内物や輸入物が入荷する。胡蝶蘭、カトレア、デンファレ、オンシジウムは昨年並だが、シンビジウムは6～7割減の見込み。</p>					
ばら	実績	29年	567	74		
		30年	620	65		
		元年	524	76		
		2年	520	83		
		3年	410	78		
5カ年平均		528	75			
4年見通し		500	80			
概要	<p>愛知、岐阜、三重、和歌山を中心に入荷する。例年に比べ成人式の注文の入りがよく、コロナウイルスの影響がある中、イベントが戻りつつあり、よい傾向となっている。</p>					
枝も	実績	29年	1,252	46		
		30年	1,226	48		
		元年	1,187	48		
		2年	1,170	51		
		3年	812	51		
5カ年平均		1,129	49			
4年見通し		900	50			
概要	<p>年明けから、桜、こでまり、レンギョウ、山州、雪柳など促成花木の入荷が始まる。厳冬の中、燃油の高騰で温度での管理が気になり。露地物のガマズミ、銀香梅、青文字などは安定入荷が見込まれる。</p>					

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
工 績	実 績	29年	13,351	220	
		30年	12,475	191	
		元年	12,921	172	
		2年	9,553	208	
		3年	9,488	176	
	5ヵ年平均	11,558	194		
	4年見通し	9,000	178		
力 概 要	<p>入荷量は前年より減少か。作付けの減少が要因と思われる。今年は暦の関係で2021年止市から2022年初市までの仕入空白期間が長い為、年初の1週間はお客様の買い気強いことが予想され、好市況が期待できる。それ以降は軟調な相場となる見込み。 前年1月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位長野(35.7%)、2位山梨(31.3%)、3位静岡(15.8%)となっている。</p>				
プ 績	実 績	29年	486,315	93	
		30年	434,800	80	
		元年	390,400	95	
		2年	437,705	88	
		3年	290,753	104	
	5ヵ年平均	407,995	91		
	4年見通し	290,000	103		
ラ 概 要	<p>入荷量は前年より減少か。ジュリアン・ポリアンともに生産量の調整及び昨夏の天候不順の影響が出ている。1月中旬以降は前年並の入荷量と思われるが、上旬は例年より少なめの入荷になる見込み。 前年1月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(38.5%)、2位埼玉(16.0%)、3位茨城(8.3%)となっている。</p>				
チ ュ ー リ ッ プ	実 績	29年	40,897	213	
		30年	31,700	224	
		元年	36,588	207	
		2年	34,845	209	
		3年	36,800	208	
	5ヵ年平均	36,166	212		
	4年見通し	36,500	210		
力 概 要	<p>入荷量は前年並か。関東は4~5号、愛知は4号サイズが中心で、その他のサイズは年々減少。価格面では前年と大きく変わらない見込みだが、年々注文が減少しているため、競売次第で変動する。 前年1月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉(27.7%)、2位愛知(27.1%)、3位茨城(14.0%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
サイネリア	実績	29年	53,709	242	
		30年	42,745	249	
		元年	44,420	279	
		2年	38,470	280	
		3年	34,967	286	
	5ヵ年平均	42,862	265		
	4年見通し	35,500	282		
概要	<p>入荷量は前値よりわずかに増加か。10月の高温の影響か、年内入荷分の開花遅れが顕著で年明けからの入荷となる。例年通り6号は埼玉・愛知・三重・東北産地、4号は愛知・三重を中心に入荷する。価格面においては年々厳しくなっており、さらに成人式需要も減少傾向にあるため、前年を下回ると予想される。</p> <p>前年1月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉(35.7%)、2位香川(16.6%)、3位栃木(9.3%)となっている。</p>				
マーガレット	実績	29年	41,464	191	
		30年	35,941	179	
		元年	33,426	199	
		2年	37,423	198	
		3年	30,759	217	
	5ヵ年平均	35,803	196		
	4年見通し	30,000	217		
概要	<p>入荷量は前年並か。前半強めに推移したが、花固め出荷が予想される。4号サイズを中心に引き合いが強いとの見込み。</p> <p>前年1月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(25.6%)、2位岐阜(23.8%)、3位静岡(22.4%)となっている。</p>				
デンドロビウム	実績	29年	19,651	679	
		30年	20,267	584	
		元年	19,042	651	
		2年	14,713	665	
		3年	13,085	617	
	5ヵ年平均	17,352	639		
	4年見通し	13,000	615		
概要	<p>入荷量は前年並か。作付けの多い5～6号に関しては苦戦する見込み。5号未满是使いやすさ、大鉢などは作付け数も少ないことからある程度の引き合いはある。</p> <p>前年1月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(48.6%)、2位岡山(19.2%)、3位高知(12.6%)となっている。</p>				



いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.583
2022年1月発行
農業水産局農政部食育消費流通課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6434